

鹿児島県下で初記録のトンボ2種

笹原節男*

Two newly recorded dragonflies from the limits of
Kagoshima prefecture

Sethuo Sasahara

1. オオキイロトンボ *Hydrobasileus croceus* (Brauer)

1993年7月20日，奄美大島名瀬市の，海岸と海岸から500～1000m離れた山の間にある湿地において，午後5時頃多数のオキナワチョウトンボやハネナガチョウトンボに混じり地上2～3mの高さのところを往復飛翔している1♂を採集した。

体長 53mm，腹長 35mm，後翅長 46mm，前翅長 46mm

ハネビロトンボをひとまわり大きくがっちりさせた橙褐色のトンボで，後翅基部の後縁部にW字型にみえる顕著な濃褐色斑がある。

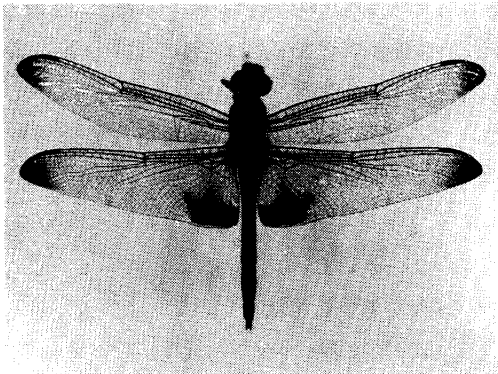
国内では，沖縄本島と石垣島，西表島から記録されている。これらの島では最初に発見されて以来，継続して生息が確認されている。国外では，東洋熱帯地方に広く分布している。

2. タイリクアキアカネ *Sympetrum depressiusculum* (Selys)

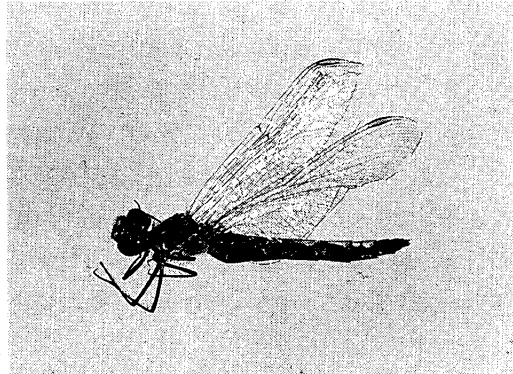
1991年10月20日揖宿郡開聞町開聞岳麓の山林に於いて，午後1時頃，2mほどの高さを飛翔している1♀を採集した。本種の確認をしていただいた日本蜻蛉学会会長朝比奈正二郎博士と同定について御協力下さった江平憲治氏に厚くお礼申し上げます。

体長 30mm，腹長 21mm，後翅長 24mm，前翅長 24mm

本種は，中国東北部，朝鮮半島などに生息し，北方から風に乗って飛来したと考えられている迷トンボである。鹿児島県初記録で九州でも珍しい。



オオキイロトンボ♂ 1993. VII. 20



タイリクアキアカネ♀ 1992. X. 20